

ゆあメインだより

第6号 2016年2月発行

12・1月に於ける活動の様子

12月は異常気象の影響で暖かな日が続きました。朝晩多少寒くても、屋には気温も上がり、澄み切った空気の中を気持ち良く散歩できました。年が明け1月に入ってから後半までも、寒くない実に過ごし易い日とで、良い年のスタートとなりました。また、例年この時期に流行する風邪やインフルエンザも少なく、お陰さまで、利用者さんたちは元気良くゆあメインに通ってきていました。

【クリスマス会】



礼拝室の飾りつけ



本番に向けたハンドベルの猛練習



河崎先生も含めハンドベルの練習

12月4日(金)利用者さんのご家族やヘルパーさんなどの関係者を招待し、ゆあメインのクリスマス会を行いました。飾り付けはみんなで実施、そして、出番のハンドベルの練習を何度も行いました。



きれいなクリスマスソングでした。



岩崎先生の音楽グループによる演奏



利用者さんによるハンドベル演奏本番

河崎先生の音楽グループによる素晴らしい演奏に加え、利用者さん達によるハンドベルも披露できました。毎日の練習の成果もあり、大丈夫かな、と思っておりましたが、みんな本番に強く、自分の番を良く覚えていて、しっかりベルを鳴らしていました。「やればできる」と、自信につながりました。



ケーキを食べながらの交流会



みんな楽しく交流していました。



さいごにみんなで全体写真

その後、皆さん一緒にクリスマスケーキを食べながら色々な話をし、お互い交流を深めました。



【カレンダー作り】

昨年同様、次の年のカレンダーを関係者に配布するため、業者に依頼し印刷したカレンダー下に和紙の契りで施設の名称と住所を貼り付ける作業をみんなで行いました。色がカラフルで利用者の個性がよく出ていました。



【年末大掃除】



12/29日、半日掛けてゆあメインの大掃除をしました。掃除する場所と担当を事前に決め、窓ガラスの清掃から床拭き、トイレから風呂掃除まで、職員の指示に従い隅々まできれいになりました。午後の活動時間まで掛かるかと思いましたが、みんな一生懸命に取り組み頑張ったため、午前中で何とか終わることが出来、ゆあメインも、綺麗で気持ち良い新年が迎えられました。



【軽運動の時間】

身体を動かすことは大切なことで、毎朝のラジオ体操ばかりでなく、屋食後の散歩も気分転換を兼ねた健康維持に役立っています。しかし、天候等で散歩ができないような日には、室内で身体を動かせるようなちょっとしたゲームや遊びなども出来るよう工夫しています。また、ゴムバンドによるストレッチ、風船遊びや集中力、判断力を養うような、けん玉や輪投げなどもやっています。







【韓国青年ボランティアとの創作活動】

1月4日～18日までの期間、韓国から青年のボランティアグループが来所し、創作活動の時間を使い、利用者さんと一緒に色々な工作を行いました。全部で7回行われましたが、利用者さんが楽しく、一緒に作れる工夫が毎回見られ、手とり足とり教わりながら作りあげていきました。



風車の工作



自作の風車を風に吹かせ回るのを確認



ペインティングに挑戦



花瓶にお花を生けたイメージでペイント



自作品を手にもみんなで記念撮影



カレンダー作りにも挑戦

回を重ねる度にお互いの信頼関係も生まれ、利用者さんも毎回楽しみにしていました。活動中には簡単な日本語も交えた会話も出て大満足。週末には、礼拝室で公演したり、韓国料理を披露したりしてくれ、一部の利用者さんも参加していました。言葉が異なっても、優しさや心の暖かさが通じる良い機会で、本当に楽しい日々を一緒に過ごすことができました。有難う御座いました。



韓国料理を作る体験もしました



お肉をいっぱい入れ韓国ギョーザの出来上がり



ボランティアグループの作った韓国料理



ボランティアの一人が自作した曲もありました



韓国の伝統衣装を着ての踊りを披露



ボランティアグループによるダンス







ゆあメイン ゆあメイン ゆあメイン ゆあメイン ゆあメイン ゆあメイン ゆあメイン ゆあメイン ゆあメイン



【韓国のボランティアチームと一緒に創作した作品】



折り方がちょっと難しかった花のお飾り



花瓶に生けた花をイメージしたペインティング



中に風船を膨らませ紙ひもで型を作りました。



風車作り



韓国で利用されるお面のペインティング



キャップと毛糸で作ったキーホルダー



カレンダー作り



特定非営利活動法人ゆあメイン
〒422-8026 静岡市駿河区富士見台 1-16-18
TEL) 054-266-4471 FAX) 054-266-4472
URL) <http://uamine.moo.jp> E-mail)
info@uamine.moo.jp

【 詩 】
- 利用者支援の傍らで -

希望

川を渡ると
野の花が見える
山を越えると
輝く空の光が
近づいてくるように

主よ
あなたの内にある
苦痛は
一輪のバラのように
芳しくなり

主よ
あなたの内にある
私の人生は
名のある花になる

明日も
希望に向け
命の花びらを
あなたに捧げる

理事兼職員 金熙淑



shutterstock · 141841504